

事業計画書

記入者	A班	作成日	平成 26 年10月16日
イベント名	歴史探訪ツアー ～神林地区の隠れた歴史を探る～		
目的	神林地区の地域活性化のためには、先ず、地元の人が地元を知らなければならぬ、そこで地域の隠れた史跡や秘伝を巡り、神林の隠れた魅力を再発見する。		
内容	<p>○コース</p> <p>塩谷（円福寺）→平林城跡周辺→<u>桃川城→桃川神社</u> <u>その他の旧跡</u> <u>登るのが大変なので一番良い場所から眺める</u></p> <p>・探訪先で地元の人から案内・説明を行なってもらう。</p>		
開催日・期間	<p><u>4月上旬から中旬</u></p> <p>1日コース</p> <p><u>9：00→昼食（弁当）→15：00</u></p>		
開催場所	神林地区		
対象者・定員	歴史に興味のある人、地元の人を優先する。 定員：20人		
広報・宣伝	告知端末、集落回覧などで広報・宣伝を行なう。 <u>マスコミの活用</u>		

事業計画書

記入者	B班	作成日	平成 26 年10月16日
イベント名	ホタルの里 河内散策		
目的	地域の交流と元気を出すために、貴重な自然、田んぼと川づくりを行なって多くの皆さんに来てもらう。		
内容	<p>ホタルのエサとなるカワニナの確保と勉強会を通して行なう。 <u>カワニナの捕獲→百川等に放流→河内散策</u> <u>勉強会→鑑賞会</u> <u>講師は下水道課長 中村さん</u> 自分が育てたホタルを見てもらう。</p>		
開催日・期間	<p><u>・ 5月連休明け カワニナの捕獲、百川に放流 (半日)</u> <u>・ 6月20日過ぎ 勉強会→鑑賞会</u></p>		
開催場所	<p>河内集落 (中央付近) <u>※ホタルの出る場所 (2ヶ所)</u></p>		
対象者・定員	<p><u>子ども～大人まで</u> <u>40～50人</u></p>		
広報・宣伝	<p><u>告知端末</u> <u>NHK</u></p>		

事業計画書

記入者	C班	作成日	平成 26 年10月16日
イベント名	神林フェス（仮）		
目的	村上市（神林）やその外の方々にも各団体の活動を知ってもらう。		
内容	<p>・食の陣にコンサートをプラスして、子どもが楽しく遊べるスペースも作って多くの人を呼ぶ。そこに各団体の活動を紹介するブースを作って知っていただく。各団体の紹介は、各団体で自由に作る。知っていただくツールの一つとして各団体の活動を紹介する小冊子を作り、見どころも入れる。持ち帰ってあらためて見てもらう。</p> <p>・旧神林を紹介するガイドブックを作成する。中にスタンプラリーがついて、みんなで参加できる。当日もスタンプを押せるし、各団体の行事に出ても押しもらえる。何個かスタンプがそろったら応募ができ、神林産の物産が当たる。</p> <p>・<u>フリーマーケット、バザー</u></p>		
開催日・期間	<u>11月7日（土）・8日（日）</u> お米のおいしい秋頃		
開催場所	<p>パルパーク神林総合運動公園（体育館、多目的グラウンド）</p> <p><u>体育館・・・活動紹介、集客イベント</u></p> <p><u>ロビー、外・・・食、販売</u></p>		
対象者・定員	<p>対象：子どもからお年寄りまで。</p> <p>・体の不自由な方にも来ていただけると尚よい。</p> <p>・小学校、中学校の学年の授業などで来てもらうとよい。（地元を知る）</p> <p>・<u>ターゲット→地元</u></p> <p>→外</p> <p>・2日間 2,000人</p>		
参加費 予算	<p><u>参加費：無料</u></p> <p><u>60～70万円</u></p>		
広報・宣伝	<p>・インターネット、ポスター、告知端末にて内容と日時を宣伝する。</p> <p>・新潟一番のCMに出る。</p>		

事業計画書

平成26年10月16日

資料1-4

事業名	神林地区地域活性化事業		
大テーマ	神林を知る・知ってもらう		
趣旨	「定住の里づくりアクションプラン」で示した施策の方法性の実現に向け、「地元知る」をテーマにすることで事業を実施する。このことで地域資源のネットワーク化が図られ、地域の人が地元の魅力に気づくことで、神林の情報が発信されることが期待できる。		
大イベント名	神林再発見！神林の「いいところ」満喫プロジェクト		
概要	「自然」 → 「歴史」 → 「食」 のツアー形式		
小イベント名	第1弾 「ホテルの里 河内散策」	第2弾 「歴史探訪ツアー」 ～神林地区の隠れた歴史を探る～	第3弾 「神林フェス（仮）」
目的	地域の交流と元気を出すため、貴重な自然保護（田んぼ・川づくり）を行い、多くの皆さんに来てもら	地域の隠れた史跡や秘伝を巡り、神林の隠れた魅力を再発見する。	各団体の活動を知ってもらう。
開催日	①5月連休過ぎ ②6月20日過ぎ	4月上旬～中旬 9：00→弁当→15：00	お米のおいしい秋頃 11月7日（土）～8日（日）
開催場所	河内集落（中央付近） ※ホテルの出る場所（2ヶ所）	神林地区	神林運動公園 （体育館、多目的グラウンド）
対象者	子どもからお年寄りまで、どなたでも	歴史に興味のある人	子どもからお年寄りまで。障がい者の方も。 小学校・中学校の授業などで
定員	40～50名	20名	2日間で2,000人規模
参加費			参加費：無料
内容	①カワニナ捕獲、百川に放流 河内集落散策 ②勉強会（19：00～20：00） 鑑賞会（20：15～21：00）	①塩谷（円福寺）→平林城跡周辺→桃川城→桃川神社 その他の旧跡 ②探訪先で地元の人から案内、説明を行ってもら	①食の陣にコンサートをプラスして、子どもが楽しく遊べるスペースも作って、多くの人を呼ぶ。 ②各団体の活動を紹介するブースを作って知ってもらう。 ③旧神林村のガイドブック作成（スタンプラリー付） スタンプを集めて応募→神林産の物産が当たる。
リスク	駐車関係、夜間	人数限定、交通手段（バス）	地域のイベントにぶつけるか？単独開催か？
予算			60～70万円
広報・宣伝	①地域活性化事業としての目印が必要 → のぼり旗などの設置 ②全イベントに参加してもらう工夫 → スタンプラリー、賞品など ③告知端末、集落回覧 ④インターネット、ポスター ⑤新潟一番に出演 ⑥マスコミの活用		
思考点	実施形態について ・主催は？ ・実働組織は？ 第1弾、2弾については受入は各団体中心で行う。第3弾については、全団体の総力として実施する？ ・全体プロジェクト及び各弾の事務業務は誰がするの？事務業務とは、企画・案内・とりまとめ、広報、評価、予算管理など		
効果	◇平成27年度 「神林を知る」をテーマに、満喫ツアーを実施することで、地元の良さを再発見する。 ◇平成28年度 「神林を知ってもらう」をテーマに、外へ向けた発信をする。1年目の事業をさらにバージョンアップした企画をする。（参画者のモチベーションが向上することで可能。 ◇当事業から財源を作ることができるよう、シミュレーションしたらどうか？やりがい、張り合いが生まれ、モチベーションも上がり、観光としてアピールすることができる。 ◇コミュニティビジネスとなる可能性もあり。		

